

医学系研究におけるデジタルPCR実験立ち上げのポイント ～測定原理・ワークフロー・リアルタイムPCRからの移行～

今日の研究における複雑な問いに取り組むには、従来のPCR技術の能力を超えたより深い情報を必要とします。第三世代のデジタルPCRは、そのギャップを減らし、日々の研究における問いに取り組むためにますますシンプルで、そして実用的な技術になっています。

普段ご使用いただいているリアルタイムPCRは第二世代のPCR装置です。第一世代のエンドポイントPCR法では、電気泳動で得られたバンドの濃さをターゲット核酸量の指標とする半定量法である為、正確なコピー数の定量ができませんでした。一方のリアルタイムPCRでは、核酸の増幅量をリアルタイムに測定し、増幅曲線と検量線に基づいてコピー数を定量できるようになりました。リアルタイムPCRの登場は、DNA/RNA研究分野に発展をもたらしました。非常に感度の高い遺伝子解析技術として、幅広いアプリケーションで使用されています。

今回ご紹介するデジタルPCRは、第三世代最先端のPCRテクノロジーです。これまでになかったアプローチで、数千から数万の微細なパーティションに反応溶液を分配しエンドポイントPCRを行い、ポジティブウェルとネガティブウェルの割合を測定し、統計解析を用いて検量線なしでコピー数を絶対定量します。本ウェビナーでは、より高精度に定量を行うことができるデジタルPCRの最新技術について紹介します。

・ 日時

2023年 11月 10日 (金) :

11:00～12:00 : ウェビナー (ZOOM)

18:00～19:00 : ウェビナー (ZOOM)

2023年 11月 14日 (火)～17日 (金) :

終日 : 機械を展示しております。



・ デモ会場

熊本大学医学部総合研究施設 7階 708号室

・ 問い合わせ先

株式会社キアゲン ライフサイエンス営業部

伊辻泰朗 Mail : Yasuo.Itsuji@qiagen.com Tel : 06-7670-7890